

平成20年度 横浜国立大学法科大学院入学試験（A日程）
小論文試験試験問題（試験時間 13：00～16：00）

問題Ⅰ 以下の文章を読んで、＜問1＞＜問2＞に答えなさい。

（注）著作権法等の配慮により問題文は割愛します。

なお、問題文は、次の文献から引用しております。

『レトリックの記号論』佐藤信夫 著（1993年 講談社学術文庫）
10ページ1行目（表題除く）～ 11ページ4行目
11ページ14行14文字目～ 16ページ6行37文字目

＜問1＞ 筆者のいう「コード」の意味について、「堅いコード」と「柔かいコード」との違いを示しつつ、説明しなさい（500字以内）。

＜問2＞ 以下の【参考文献】の内容をふまえて、法律と常識の関係について、「堅いコード」と「柔かいコード」という筆者の概念を用いつつ、あなた自身の考え方を述べなさい（1000字以内）。

【参考文献】

（注）著作権法等の配慮により問題文は割愛します。

なお、問題文は、次の文献から引用しております。

『法の考え方と使い方—現代法の役割—』田中成明 著
（1990年 大蔵省印刷局）
101ページ9行6文字目～ 11文字目
101ページ9行24文字目～ 101ページ最終行

問題Ⅱ 以下の文章は、『信頼の構造』（山岸俊男著、東京大学出版会、1998年）の一部です。
これを読み、＜問1＞～＜問3＞に答えなさい。

(注)著作権法等の配慮により問題文は割愛します。

なお、問題文は、次の文献から引用しております。

『信頼の構造—こころと社会の進化ゲーム—』山岸俊男 著

(1998年 東京大学出版会)

1ページ1行目(表題除く) ～ 2ページ16行目

3ページ1行34文字目 ～ 7ページ22行10文字目

＜問1＞ 下線部分①の「集団主義社会は信頼を破壊する」という著者のメッセージの意味を説明しなさい(100字以内)。

(附記) 下線部分①は以下のとおり。

2ページ14行目29文字目 ～ 15行目9文字目まで

＜問2＞ 下線部分②の「開かれた機会重視型の社会」とはどのような社会か、説明しなさい(100字以内)。

(附記) 下線部分②は以下のとおり。

7ページ17行目10文字目 ～ 21文字目まで

＜問3＞ 著者の言う「開かれた機会重視型の社会」について、そのメリットとデメリットに言及しつつ、あなたの考えを述べなさい(800字以内)。